くろべ 市議会だより



黒部宇奈月キャニオンルート一般開放で繋がる黒部ダム

第81号
令和８年８月1日
発　行

発　行　黒部市議会
編　集　広報広聴委員会

４月臨時会 …… P2
６月定例会 …… P2～P3
各委員会での審査内容 …… P4～P6
14人の議員が市政を問う …… P7～P15
議会日誌、編集後記 …… P16

4月臨時会(4月30日)で決まりました

４月臨時会では市長から「令和８年度黒部市一般会計補正予算（第１号）」などの議案９件が提出され、全議員賛成により可決いたしました。

一般会計補正予算

△ 5,039万6千円

可決

これにより、補正後の予算総額は **223億4,960万4千円** となりました。

6月定例会で決まりました

６月定例会は、６月４日から６月２３日までの２０日間にわたり開催されました。
初日に市長から「令和８年度黒部市一般会計補正予算（第２号）」などの議案９件が提出されました。
最終日には、人事関係議案２件が追加提出されるとともに、「議員提出議案第２号」を提出し、すべての議案を可決・承認・同意いたしました。

一般会計補正予算

7,820万4千円

可決

これにより、補正後の予算総額は **224億2,780万8千円** となりました。

●本会議の採決における賛否一覧　（賛否が分かれたもののみ掲載しています）

議案＼氏名	橋詰 真知子	野村 康幸	松倉 孝暁	宮﨑 孝義	長谷川 恵二	家敷 誠貴	古川 和幸	中野 得雄	大辻 菊美	柳田 守	柴沢 太郎	成川 正幸	高野 早苗	中村 裕一	木島 信秋	辻 泰久	新村 文幸	賛成	反対
議案第44号 黒部市税条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	欠席	14	1
議案第46号 黒部市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	欠席	14	1

結果賛否：○ … 賛成　　× … 反対

6月定例会最終日に、下記の議員提出議案を議決いたしました。

議員提出議案第２号

非核三原則の堅持を求める意見書

6月定例会人事案件（1件）

下記の候補者の選任について、同意いたしました。

■黒部市副市長

島田　恭宏　氏　（三日市）

当局提出議案に対する討論(6月23日)

議案第44号、議案第46号（黒部市税条例の一部改正について　外１件）

反対討論　**長谷川　恵二　議員**

議案第44号に係る防衛特別所得税は、東日本大震災のための復興特別所得税の半分を振替えて戦後初めて創設された軍事費のための税金です。軍事費拡大のための姑息なやり方に、一部とはいえ賛成することはできない。

議案第46号は、同様に軍事費拡大のため、本来税金で負担すべき子育て予算を、社会保険料に名を変えて国民負担にする「こども・子育て支援納付金」創設に伴う改正だが、真正面から反対せざるを得ない。

当局提出議案に対する討論（6月23日）

議案第40号から議案第48号（令和８年度一般会計補正予算　外８件）

賛成討論　**成川　正幸　議員**

人口減少や物価高騰が進む中、提案された補正予算や条例改正等は、市民生活の向上と持続可能な行政運営に不可欠である。賛成理由は主に、①教育や農林水産業への投資と財政健全化の両立による未来への地域発展、②デジタル化の推進に伴う行政サービスの利便性と効率性の向上、③市営住宅の適正管理による公平性とルールの遵守、の３点である。これら各施策は、厳しい時代の中で次世代への責任を果たし、黒部市のさらなる発展に直結するものと確信し、全議案に賛成する。

議案第40号から議案第48号（令和８年度一般会計補正(第２号)　外９件）

賛成討論　**高野　早苗　議員**

自民同志会、公明党を代表して、議案第40号から議案第48号までの９件に賛成いたしました。

上坂市長の初定例会において、新たな時代のニーズに応えながら市政を前進させる決意が示されました。一般会計補正予算には、市制施行20周年記念事業や根室市姉妹都市提携50周年事業、花火大会支援、キャッシュレス化、農業担い手支援などが盛り込まれていました。また、市営住宅家賃滞納者に対する訴えの提起は、公平・公正な住宅管理のため必要な対応であり、あわせて早期の相談支援にも努めるべきと考えます。各議案は市民福祉の向上と持続可能なまちづくりに資するものとして賛成いたしました。

議案第49号（副市長の選任について）

賛成討論　**成川　正幸　議員**

山積する地域課題に迅速かつ的確に対応し、本市の重要施策を強力に推進していくためには、確固たる行政執行体制の確立が不可欠である。 提案された人事案は、豊富な行政経験と高い識見を有し、次なる黒部市の発展を牽引するに極めてふさわしい適切な人事であると高く評価する。 市長の強力なパートナーとして、山積する諸課題の解決に向け、遺憾なくその手腕を発揮することを強く期待し、本案に賛成する。

表彰状及び感謝状の伝達がありました

《全国市議会議長会》

表彰状（議員在職35年以上）	○新村　文幸　議員		
（議員在職25年以上）	○木島　信秋　議員		
（議員在職15年以上）	○中村　裕一　議員		
感謝状（評議員に対する感謝状）	○成川　正幸　議員	○柳田　守　議員	
（地方財政委員に対する感謝状）	○成川　正幸　議員	○柳田　守　議員	

《北信越市議会議長会》

（議員在職35年以上）	○新村　文幸　議員		
（議員在職25年以上）	○木島　信秋　議員		
（議員在職15年以上）	○中村　裕一　議員		


新村 文幸 議員


木島 信秋 議員


中村 裕一 議員


成川 正幸 議員


柳田 守 議員

総務文教委員会

委員長：高野 早苗　　副委員長：野村 康幸
委　員：長谷川 恵二　　柳田 守　　成川 正幸　　木島 信秋

★予算（1件）
令和８年度黒部市一般会計補正予算（第２号）

★条例（4件）
黒部市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について　　外３件

★予算の補正

●総務費

答 問 市制施行20周年記念事業費について

11月の3連休にコラーレで記念式典を開催予定。根室市との姉妹都市50周年も踏まえた内容を検討中。交流関係者との懇談機会を設けたいと考えている。

★その他

問 特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正に係る対象者の実態について

答 市外在住で市内に資産を有する者などが対象。正確な人数は不明だが一定数が対象となるものと認識。

〈議案の審査結果〉付託議案5件は、原案を可とすることに決定

★所管事項の意見交換

答 問 スマートロックの導入優先順位等について

災害や地域ごとで、緊急対応が必要な災害に対し、災害の種別に応じて、様々な視点を踏まえ可及的速やかに設置が必要かどうかを検討しながら、現在は35か所に設置している。更なる設置の取組に当たっては、アナログ（鍵の管理による）が良いのか、スマートロックが良いのかを含め比較検討や地区の意見も踏まえ進めたい。

答 問 バニラカード（ギフトカード）について

ギフトカードは5月下旬から配り始めており、配布は6月下旬までかかる見込み。6月18日からは回っているが不在票を置いておらず、6月23日からは不在票を置くため、今後は再配達の手続き等が可能となる。当初は使い方に関する苦情等があるのも事実で、商品券と同じ感覚で使用可能なのだが、見慣れないため拒否感もあるようである。

★請願の審査

【請願第1号】 非核三原則の堅持を求める意見書の採択の請願について

〈請願の審査結果〉 起立多数により採択することに決定。なお、議員提出議案第2号と同内容のため、本会議にて採決は行わないことに決定。

生活環境委員会

委員長：古川 和幸　　副委員長：橋詰 真知子
委　員：松倉 孝暁　　中野 得雄　　辻 泰久

★条例（１件）
黒部市印鑑条例の一部改正について

〈議案の審査結果〉付託議案1件は、原案を可とすることに決定

★所管事項の意見交換

答 問 夜勤看護師の不足と体制維持について

病棟の夜勤に必要な最低人数189名に対し現在は197名配置しているが、今年度の退職予定者のうち18名が夜勤可能者のため、年度末には179名まで減少する。育児休業からの復職予定12名に夜勤可能者はおらず、夜勤制限のある者も35名おり年度末にはさらに増える見込みである。これらを合わせると、年度末には夜勤要員が必要人数を10名下回る非常に厳しい状況となる。通常の配置調整だけでは不足分を補うことが難しいため、「夜勤専従看護師」の確保・配置に努めている。確保対策として、学校訪問や病院見学者の継続的な関係づくりなど採用活動も強化している。教育体制の整備、夜勤の負担を軽減するための看護補助者の継続的採用等を進めている。また、定年後の「プラチナナース」が約30名在籍しており、そのうち8名に夜勤に従事してもらいながら、安心・安定的な夜勤体制の維持と確保に努めている。

答 問 宮沢清掃センターにおける建物火災の概要と再発防止について

6月18日未明、ビニプラ類専用ラインでリチウムイオンバッテリーが原因の火災が発生した。ビニプラ類ごみが焼損したものの、人的被害はなかった。4月1日からは、リチウムイオン電池の新たな回収方法を始めたので、市民への周知を徹底していく。

★現地視察

黒部市民病院のＡＩ問診の稼働状況、診療費支払機の稼働状況、マイナ保険証交付機の利用状況について当局より説明を受けた。また令和7年11月より稼働している全身ＣＴ装置の見学、ＰＦＭ（Ｐａｔｉｅｎｔ Ｆｌｏｗ Ｍａｎｅｇｅｍｅｎｔ）の導入についても説明を受けた。



産業建設委員会

委員長：家敷 誠貴　　副委員長：柴沢 太郎
委　員：宮﨑 孝義　　大辻 菊美　　中村 裕一　　新村 文幸

★予算（3件）
令和８年度黒部市一般会計補正予算（第２号）
外２件

★その他（1件）
訴えの提起について

★補正予算

●商工費

問 市制20周年・生地花火大会40周年の記念事業の内容と、有料観覧席導入の検討状況について

答 予算を演出拡大（２００万円）と有料席導入に向けたニーズ調査（30万円）に充てる。観光局と連携して検討するが、警備体制の維持や既存の寄付者への対応など、現場の課題も踏まえて進めたい。

〈議案の審査結果〉付託議案４件は、原案を可とすることに決定

★所管事項の意見交換

問 石田フィッシャリーナの施設整備に合わせた値上げや、県外利用者と市内利用者での料金格差を設ける考えについて

答 整備完了後に適正な価格を検討する。県外利用者の冬季の管理状況等も踏まえ、他自治体の事例を参考に総合的に判断したい。

問 道の駅付近の国道８号線交差点（入善から魚津方面）への右折信号設置について

答 現在は交通量も伸び、商業施設も増えている。実態を示す証拠を積み上げ、国交省や公安委員会へ強く働きかけたい。

問 道の駅駐車場のお盆時期等の長時間駐車への対策について

答 貼り紙による注意喚起も含め、指定管理者と連携し対策を検討・実施していきたい。

問 あいの風とやま鉄道黒部駅西口整備の進捗状況と、鉄道事業者の計画における優先順位について

答 経済的な合理性や想定される通行量を勘案し、跨線橋案で議論を進めている。鉄道事業者とは、順番が来次第基本設計へ移行することで共通認識を持っており、地域の皆様の協力もあり前進していると認識している。

各特別委員会等での審査内容

観光・都市活性化振興特別委員会

委員長：大辻 菊美　　副委員長：松倉 孝暁
委　員：野村 康幸　中野 得雄　高野 早苗　中村 裕一　木島 信秋　新村 文幸

★所管事項の意見交換

問 本年度開通が予定されるキャニオンルートについて

答 開通時期は7月上旬に正式に発表されるが、本年度は欅平周辺にて安全対策を優先的に行い、来年度以降遊歩道や足湯の整備を行う予定である。また熊対策として黒部峡谷鉄道が超音波装置『熊ソニック』の設置を検討する。

問 キャニオンルートの商品化に合わせたふるさと納税のプレミアム返礼品について

答 総務省との調整も必要だが立山町や長野県大町市との合同での商品化に比べて本市単独であれば実現のハードルは低くなると考える。

問 「道の駅KOKOくろべ」周辺のドックラン整備について

答 地域住民や愛犬家から意見を聞きながら進めている。当初の試験整備の方針から見直し、総合運動公園にドックランの整備を前提とする民間事業者の参入意欲を確認する市場調査を実施することとする。

問 「道の駅KOKOくろべ」のテナントについて

答 JAの管轄のテナントの一部が空き店舗となっている。引き続きJAに働きかける。

問 「道の駅KOKOくろべ」の来場者数について

答 6月3日にスターバックスがオープンして2週間が経過したが、併せて道の駅への来場者も増加している。中高生の来客数が増加している。



道の駅 KOKO くろべ

デジタル化推進特別委員会

委員長：柴沢 太郎　　副委員長：古川 和幸
委　員：橋詰 真知子　長谷川 恵二　家敷 誠貴　柳田 守　成川 正幸　辻 泰久

★国の「自治体DX推進計画」に定める重点事項の取組状況について

問 「書かない窓口システム」の利用実績について

答 総合受付型の利用件数が少ないことを認識している。住民が顔の見える職員への直接相談を好む傾向があるためであり、今後は各課と協議の上、分析調査を検討する。

問 「生成AIサービス」の利用について

答 既存の「LoGoチャット」提供会社を通じ、ChatGPT、Gemini、Claudeを選択可能な環境を整える。初期費用は20万円、月額利用料はトークン量に応じ7万円から13万円を見込む。トライアル期間の利用実績を精査し、市にとって適切な契約内容を見極める。



書かない窓口

★所管事項の意見交換

問 マイナンバーカードの普及率について

答 令和7年度の実績では、紛失再交付が月平均約12件、暗証番号関連の手続きが月平均約88～90件発生している。マイナ保険証の利用拡大が見込まれるため、引き続き丁寧な対応を行う。

問 「音訳ボランティア」の活用について

答 現在は視覚障害者支援を主目的としたグループが活動している。提案された一般市民への対象拡大については、事業本来の目的や性質を再考しつつ、さらなる展開の可能性を含めて検討していく。

議会改革特別委員会

全議員で構成
委員長：成川 正幸　　副委員長：松倉 孝暁

1. 議員のなり手不足に係るシンポジウムの開催について

5月20日㈬・6月19日㈮

8月3日にシンポジウムを開催することとし、当日のタイムスケジュールやチラシ案を確認した。アンケート結果の報告や、先進地事例の紹介、各市議会議長によるパネルディスカッション等を実施することとした。

2. ペーパーレス化に使用するデバイスについて

5月20日㈬

来年10月の端末リース満了を見据え、更新に向けた協議を行った。個人端末の利用可否や通信費の負担割合、庁内Wi-Fi環境等の課題を整理し、他自治体の事例も参考にしながら今後も検討を進めることとした。

3. チャットツールの運用案について

6月19日㈮

情報共有や事務連絡の効率化に向け協議した。現在は複数の連絡手段が混在しているため、行政が使用する「ロゴチャット」へ段階的に移行し、今年度中の完全移行を目指して運用方法の検討や準備を進めることとした。

4. 市民アンケートの結果について

6月19日㈮

5月1日から6月1日にかけて実施したアンケート結果を確認した。22名の回答者の多くが50代以上であったことから、今後のより詳細な分析や、次回以降の年代区分の見直しについて協議した。

市政を問う



代表質問

木島信秋　議員（自民同志会）

市長の市政運営に対する基本姿勢と主要施策について

問 就任会見の中で「リスペクトをもって市民と向き合う」との想いを語られたが、この言葉に込められた具体的な決意と、今後の「対話による市政運営」の在り方について

答 市民一人ひとりの声に真摯に耳を傾けること、そして、行政の考えを一方的に押し付けるのではなく、それぞれの立場や考え方を尊重しながら対話を重ねることが必要であると考えている。市民と行政が同じ方向を向いて、明るく、わくわくするような黒部市を創り上げることができるような市政運営を推進していく。

中東情勢が市民生活及び黒部市経済に与える影響について

問 エネルギー価格や物価高騰による市民生活への負担軽減策支援策について

答 市においては、現在実施している、市民1人当たり5000円分のプリペイド型ギフトカードを全世帯へ配布する「家計応援物価高騰対策事業」等、対策を講じているが、物価高騰の鎮静化が見通せない中、国・県・他自治体の取組を注視しながら、対策の効果等も検討の上、生活者への支援策を講じていく。



プリペイドカード

黒部市内小学校の統合計画について

問 現在の児童数推計を踏まえ、市教育委員会が将来的にどの小学校を統合対象として検討しているのか、その具体的な見通しについて

答 黒部市立小中学校再編計画では、「児童数の減少が見込まれる近接する荻生小学校と若栗小学校との統合」、「児童数の減少が見込まれる村椿小学校と、最も近い生地小学校との統合」を検討するとしているが、改めて、市内9小学校それぞれの個別要因も含めた児童数の推移に加え、他の自治体の事例等勘案しながら、統合校の在り方等検討していきたい。

質疑質問の映像リンク

質疑質問（抜粋）

手話通訳及び要約筆記の実施について

聴覚に障がいがある方が本会議を傍聴する際に手話通訳及び要約筆記を希望する場合は、傍聴席において手話通訳等を実施します。なお、議場内発言者横での手話通訳を希望し、議長が必要と認める場合に限り、議場内発言者横での手話通訳を実施します。

申込方法

聴覚に障がいがある方又はその関係者は、申込書（様式第1号）を傍聴希望日の7日前（閉庁日を除く。）までに議会事務局へ提出してください。実施要綱、申込書の様式等については、市議会ホームページで閲覧、ダウンロードすることができます。

問い合わせ先
黒部市議会事務局
TEL：0765-54-2301　FAX：0765-54-9239

録画配信

本会議録画映像の配信のページには、下のＱＲコードからもアクセスできます。



代表質問

成川正幸 議員（自民志創会）

質疑質問（抜粋）

質疑質問の映像リンク

降雨特性を踏まえた排水能力と冠水対策について

問 市街地排水路の排水能力の現状認識について

答 本市の水路網はおおむね10年に一度の激しい降雨に対応する能力を備えているが、近年の気候変動や急速な宅地化等により水があふれるリスクが懸念される。

問 冠水リスクの高い地域への短期対策について

答 出戸川等の底の土砂を取り除くほか、大野川分水への特殊な堤防の設置や、降雨予報時の合口用水からの取水停止措置を行い、水があふれるのを防いでいる。

問 冠水被害を軽減するための長期的な方針について

答 黒部川や布施川、黒瀬川の堤防補強や断面確保のための河川改修が早く完成するよう、国や県へ引き続き強く要望していく。

公共交通の利便性向上と支援実績の開示について

問 北陸新幹線開業以降の両鉄道への本市の負担実績開示について

答 あいの風とやま鉄道の経営安定化基金へ10年間で2億6014万円、富山地方鉄道への補助金等で1億6164万円を支出し、今後も分かりやすく開示する。

問 運賃値下げ・新駅設置など利便性向上の具体策について

答 再構築検討会において、定期運賃の値下げや「道の駅KOKOくろべ」周辺等への新駅設置、観光客も視野に入れたICカードの地元還元策を県や地鉄と検討する。

問 公共交通維持の社会便益（社会的・経済的効果）の精査結果への受け止めについて

答 年間120億円の価値があるとする試算を今後の重要な指針とし、公共投資は原則便益に見合ったものにすべきとの観点から十分留意して検討していく。



富山地方鉄道

各委員会の録画配信を開始しました

市議会では各委員会の審査内容をご覧いただくため、令和８年６月定例会にて開催した各委員会の録画映像のインターネット配信をしています。お好きな時間に各委員会の映像を見ることができます。

各委員会の配信のページには、下のＱＲコードからもアクセスできます。

■ 録画配信の委員会 ■

- 総務文教委員会
- 生活環境委員会
- 産業建設委員会
- 観光・都市活性化振興特別委員会
- デジタル化推進特別委員会



代表質問

中村裕一 議員（自民クラブ）

上坂新市長の市政運営方針について

問 新市長としてこの令和8年度の最重要公約について。また、それを具現化するための予算編成や政策決定のスピード感など意気込みについて

答 優先して取り組む施策の1丁目1番地は「次世代を担う子育て支援策の充実」である。また急速に進行する人口減少・少子高齢化する中、安心して子供を産み育てることが出来る環境づくりは、本市の持続可能な発展を支える重要な政策であり、「子育てするなら黒部市」を実感できる街づくりの実現に取り組む。

本市における未利用公共施設について

問 市が把握している未利用公共施設の総数と管理コストの現状認識について。併せて、予算の「全体最適」へと結びつける「圧倒的『前進』」のスピード感について

答 総数は、普通財産に分類している13施設であり、管理コストについては、電気料等も含め年間1000万円である。できるだけ速やかに、地域の実情や民間活力を踏まえた利活用の取組みを進める。

姉妹都市及び国際友好都市との関係性について

問 本市が結ぶ姉妹都市・友好都市間で「課題解決型の全体最適な連携交流」へと舵を切る考えについて

答 これまで築き上げてきた信頼関係と交流の輪を最大限に活用し、相互の知見や経験を共有しながら、双方が抱える課題解決につながる交流へと深化させる。



姉妹都市等案内看板

質疑質問の映像リンク

質疑質問（抜粋）

行政視察受入状況（令和8年5月～令和8年7月）

●5月13日（水）
宮城県岩沼市議会（教育民生常任委員会）
視察事項：介護予防・外出自主トレーニングプログラム「Goトレ」について

●7月7日（火）
福島県田村市議会（会派／政友会）
視察事項：鉄道駅との結節強化、交通弱者対策について

●7月8日（水）
秋田県由利本荘市議会（産業建設委員会）
視察事項：立山黒部ジオパークについて

●7月9日（木）
埼玉県越谷市議会（こども・教育常任委員会）
視察事項：黒部市立あおーよ図書館について

●7月10日（金）
長野県飯田市議会（社会文教委員会）
視察事項：黒部市放課後子ども教室について

●7月23日（木）
栃木県大田原市議会（議会運営委員会）
視察事項：特別委員会の取り組みについて



個人質問

宮﨑孝義　議員（自民同志会）

質疑質問の映像リンク

あいの風とやま鉄道黒部駅西口整備について

問　黒部駅西口整備の課題について

これまでに鉄道事業者との協議や検討・調査を重ね、整備方針の整理を行い、令和6年度に「黒部駅施設整備基本計画」を策定している。現状では、多額となる整備費用に対しての財源確保が最大の課題であり、国の補助事業の活用に向け、引き続き、関係機関との協議を進めていく。

問　国道8号バイパスから黒部駅西口までの道路整備について

国道8号バイパスとの連絡道路を整備することで、駅西口の利用促進等が図られるものと考えているが、費用や効果、実現性などを比較しながら検討していく必要がある。



あいの風とやま鉄道黒部駅

小中学校の通学路安全対策について

問　危険箇所数と改善事例について

小学校157箇所、中学校13箇所、保育所・幼稚園53箇所、合計223箇所のうち200箇所について防護柵設置や側溝の蓋かけなどの水路への転落防止対策を講じたほか、路側帯のカラー舗装や交差点の待機 場所確保のための安全施設の設置などを実施し、改善を図っている。

問　安全パトロール隊・地域連携、防犯対策について

市推進センター及び市防犯協会は、相互に連携しながら地区推進センターや防犯協会支部とともに定期的に会議や研修会を開き、地域課題の把握と情報共有に努めている。毎年度防犯カメラを5台程度のペースで設置を進めている。



個人質問

長谷川恵二　議員（日本共産党）

質疑質問の映像リンク

上坂新市長の公約実現について

問　中学校までの給食費無償化の時期について

令和7年度の決算状況、令和8年度の税収見込みや地方交付税の配分状況などを確認した上で実施を検討したい。幼稚園保育園については中学校までを実現したのちに検討していきたい。

問　富山地方鉄道の今後の在り方と、その市民への方向性提示について

答　先月立ち上げられた「富山地方鉄道線再構築検討会」にて、コストの議論に加え、鉄道線の社会便益についても精査し、今後も地区懇談会や住民説明会で説明していきたい。

問　富山地方鉄道とあいの風とやま鉄道との相互乗り入れについて

答　市としても提案してきたように長期的な視点に立って調査・研究を進めていく。

問　あいの風とやま鉄道黒部駅の利便性向上、エレベーター設置について

答　駅西口の整備、バリアフリー化を主なものとして、エレベーターはバリアフリーに必要不可欠な施設として詳細な整備について検討していく。

問　あいの風とやま鉄道生地駅周辺整備の加速と、その整備費用負担は利益を受ける当事者であるべきと考えるが、その所感について

答　駅舎移転形式を取りまとめた後、関係者の負担を含めた事業の基本スキームとりまとめ事業の進捗に拍車をかけていきたい。



あいの風とやま鉄道黒部駅

質疑質問（抜粋）

質疑質問（抜粋）



個人質問

家敷誠貴　議員（自民同志会）

質疑質問の映像リンク

本市における教育課題、多様な学びの充実について

問 令和11年度教育職員の時間外在校等時間平均30時間程度とする削減目標が示されたが、本市の状況について

答 全教職員の平均が4月は48・4時間、5月は41時間、前年度と比較して4月は4時間、5月は1.9時間減少している。

問 教育の質維持のためのスタッフ加配について

答 県へスタッフ配置拡充を要望し、市でも多く配置している。校内教育支援センター支援員についても増員や勤務時間増を進め教員が専門業務に専念できる体制を整え、学びの充実を図りたい。

問 地域学校協働本部の設置について

答 現在は未設置であり、早急な対応が必要と認識している。本年度は活動の核となる推進員の人材発掘を進める。

持続可能な消防団、水防団について

問 消防団員の充足状況について

答 定数488人に対し、令和8年6月1日現在の団員数は413人、充足率は84・6％となっている。

問 消防団応援の店の家族向けサービス充実について

答 現在「応援の店」47店舗中30店舗で家族も利用可能。今後も登録店の加入促進を行うとともに、家族に向けたサービス拡充についてもPRしていきたい。

問 市独自の水害想定訓練について

答 5月30日に黒部川総合水防演習が開催され、11月の市総合防災訓練でも水害想定訓練を予定しており、実効性の高い訓練内容となるよう努める。



黒部川総合水防演習



個人質問

松倉孝暁　議員（公明党）

質疑質問の映像リンク

黒部市民病院について

問 新川医療圏存続と黒部市民病院存続にむけての支援策について

答 国では複数の医療圏を統合・連携させることを検討するが新川医療圏においては圏域外への患者流失割合が直近令和6年度集計で15・6％に留まることから、一定程度圏域内で完結した医療を提供できていると判断する。人口規模だけで機械的に判断するのではないと判断する。2市2町において新川医療圏存続の方針を共有し、首長レベルの協議の場を設け共通認識を図る。併せて地域医療提供体制の確保にむけて一般会計から適切な繰出しを行う。

問 黒部市民病院では、同院で働く看護師を養成する観点から同院での実習機会の提供など行うが、この取り組みの拡大、看護師を志す人への奨学金制度を拡充するなどで安定的な看護師確保に努めるべきと考えるが、その所感について

答 実習先の選定は各学校が主体となって行うため、当院の希望だけで拡充するのは困難だが、小学校高学年が看護師の業務体験をするなど若年層が進路としてイメージしやくなる場を提供する等に積極的に取り組む。現在利用が少ない奨学金制度の一層の周知に努める。

『あおーよ』駐車場について

問 福祉駐車場の利用（ベビーカーを使う子育て世代）について

答 福祉課に利用書の申請が必要だが妊産婦の方、お子さんが1歳になるまで、双子以上のお子さんは3歳まで利用が可能。

問 混雑することが予想される特定日には旧北陸銀行跡地を駐車場として開放すべきと考えるが、その所感について

答 状況に応じて検討していく。



ハートフル駐車エリアマーク

質疑質問（抜粋）



個人質問

辻　泰久　議員（自民クラブ）

質疑質問の映像リンク

広島市での平和記念式典への出席について

問 平和都市宣言をしている黒部市の市長として、令和8年平和記念式典への出席について

答 黒部市は2008年に平和都市宣言を行い、2010年には世界の8500余りの都市で構成する「平和首長会議」に加盟した。中学校の修学旅行で広島市を訪れるなど平和教育も進めている。これまでの取り組みを踏まえ、世界の恒久平和を願う首長として出席したい。

北陸新幹線のダイヤの充実について

問 北陸新幹線から関西方面への移動における乗り換え負担の軽減に向け、はくたか号の敦賀駅までの全便延伸や、つるぎ号の黒部宇奈月温泉駅以東への延伸といったダイヤ改善の要望を、JR西日本や国土交通省へ一層強めていくことの妥当性について

答 JR西日本の夏季（7月～9月末）の臨時列車で、敦賀駅で特急と接続する新幹線（はくたか）計5往復が運行されることにより、大阪ー黒部宇奈月温泉駅間の所要時間が最大30分短縮される。このことは「利便性の向上につながる一定の前進」である。通年化を求めさらに要望を重ねていく。



北陸新幹線

保育士の確保について

問 保育士は重労働、低賃金でなり手不足と言われており、一層の待遇改善を図る考えについて

答 社会を作るということは、人を作るということであり、その最初の大事なところを担っているのが保育や教育に携わる保育士の皆様である。今後も、より良い保育環境の整備と持続可能な保育現場の維持のため、保育士の待遇改善に一層努めていく。



個人質問

高野早苗　議員（自民同志会）

質疑質問の映像リンク

避難所機能強化と地域防災力向上について

問 避難所ごとの備蓄品等の見える化と分散備蓄、ローリングストックについて

答 備蓄品は市内32か所の公共施設に分散配置し、自主防災組織等と情報共有している。年1回の棚卸しで補充・更新を行い、期限が近い非常食は防災訓練で活用するなど、適正管理に努める。

問 新しい技術を活用しながら調査の準備を行う必要性について

答 「自助・共助・公助」が機能し、被害を最小限に抑える地域社会を目指す。人口減少や高齢化による担い手不足を踏まえ、自主防災組織や自治振興会、消防団などとの連携を強化し、関係づくりを進める。

「人を支える仕事」への理解を深めるキャリア教育について

問 人を支える仕事の担い手不足と人材育成について

答 医療・福祉・保育をはじめ、製造業や観光業など幅広い分野で人材確保は重要な課題と認識している。教育委員会は、子どもたちが主体的に進路や職業を選択する力を育むことを重視している。

問 ふるさとキャリア教育の充実について

答 看護師や介護職員、保育士など人を支える仕事への理解を深めることは重要である。児童生徒の発達段階や地域の実情に応じ、理解や関心を深めるキャリア教育を推進する。

新潟県高校部活動バス事故を踏まえたスクールバスの安全対策について

問 スクールバスの安全対策について

答 新潟県の事故を重く受け止め、運行事業者の運行体制や安全管理体制を確認した。法令遵守や健康管理、車両点検の徹底を求め、安全な運行体制の確保に努める。



スクールバス

質疑質問（抜粋）

個人質問　野村康幸　議員（自民クラブ）



質疑質問の映像リンク

再生可能エネルギーについて

問 駅を中心とした拠点づくりと連動したＥＶ充電インフラの戦略的配置について

答 民間事業者による充電器の設置状況や有料化を含む「事業者負担型モデル」の活用、今後の電気自動車の普及状況や利用ニーズを踏まえ検討する。

黒部市の義務教育について

問 いじめの深刻化と子供のサイレントＳＯＳを客観的に捉える仕組みについて

答 表面化しにくいいじめやサイレントＳＯＳ発する児童生徒への対応が大事であると認識しており、児童生徒一人ひとりに「ｉ－ｃｈｅｃｋ」を実施し学校全体で共有しながら個別支援につなげているが、日常の観察を組合せ、多面的に状況把握することを大切にしている。

問 「行きたくなる学校」にするための環境づくりについて

答 子供たち一人ひとりの自己有用感や所属感が尊重される環境づくりが重要であると考えており、子供たちが主体的に参画する取組を進めている。また、教室で過ごすことが困難に感じる児童生徒に対し、多様な学びの場の確保に努め、学びの保障に向けた支援体制の充実に努める。

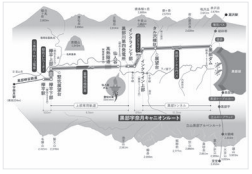
観光施策について

問 「黒部・大町デジタルクーポン」の導入検討について

答 キャニオンルート一般開放を契機に旅行会社や観光事業者による様々な商品の提案が見込まれるため、共通デジタルクーポンの導入が双方の地域に有効となるかを含め検討していく。

問 新潟県糸魚川市との連携について

答 両市とも世界に誇る観光資源と北陸新幹線の駅を有していることから、地域間連携のもと、観光施策に取り組むことは意義があり、今後、観光振興という共通の課題について情報共有や意見交換を行う。



キャニオンルート地図

個人質問　古川和幸　議員（自民クラブ）



質疑質問の映像リンク

富山地方鉄道線本線と黒部市の今後の対応について

問 富山地方鉄道本線の重要性を周知する方法について

答 富山地方鉄道本線が存在することによる社会便益の試算は、今後の鉄道ネットワークの維持を検討するに当たり、非常に重要な観点である。今後、鉄道が持つ多面的価値を社会インフラへの投資と同様に、鉄道などの公共交通への投資の必要性を「市長と語る会」を開催し、説明を行う。

アルムナイ採用（カムバック制度）について

問 行政組織を強固にすべく、元職員の即戦力登用について

答 他の市町村例も確認しつつ、本市においても実務経験があり、即戦力となる元職員の採用は有意義と考える。導入に関しては受験資格や試験の方法、既存の採用や職員の年齢構成等踏まえ、今後調査研究していく。

黒部市内の保育所の在り方ついて

問 土曜預かり保育の市内一か所拠点化について

答 土曜預かり保育（一か所拠点）は、保育施設側にとっては、働き方改革の推進、保育士勤務回数が減ることから、職場の負担軽減に繋がる一方、利用する児童にとっては、行ったことのない保育施設や保育士との接し方に不安を感じることや、保護者の送迎負担が考えられる。メリット・デメリットを整理し、保護者・保育士双方がよりよい保育環境になるよう検討していく。



保育施設

質疑質問（抜粋）



個人質問

橋詰真知子（黒部の恵）議員

質疑質問の映像リンク

黒部市小学校連合体育大会について

答問　会場について

児童の安全・安心を最優先に、安定した大会運営と安全確保を考えた結果、水はけが良く、駐車場の確保やバスの出入りが容易で、市内各校からの移動時間の差が少ない中央小学校グラウンドでの開催を決定した。

答問　今後の大会開催場所の検討と周辺環境の整備について

開催場所は市小学校長会および市教育委員会において協議を重ね検討していく。仮に中央小学校グラウンドで継続する場合、プール横トイレの改修やトイレトラックの運用、簡易トイレの借り上げ等の選択肢から費用対効果や優位性を検証し環境整備を検討していく。

トイレトラックについて

答問　選定理由と使用時に多発したトラブルについて

牽引免許不要で運転職員を確保しやすく、車両とトイレ設備が一体であるトラック型を選定した。多目的トイレを備えた仕様も重視した。連合体育大会や黒部シアターで実際にトイレとして使用した結果、カギの誤施錠やドアを自力で開けられないなど様々な事案が発生したため、注意看板の設置や器具改良を実施するなど、不安なく使用できるよう改善に努める。

答問　平時利用について

平時から使用し慣れることが大切と認識している。各種防災訓練や職員出前講座での出張展示のほか、市内のイベント等で実際に使用してもらうなど、より多くの方に使い方を体験していただけるよう努める。



黒部市小学校連合体育大会で初めて使用したトイレトラック



個人質問

大辻菊美（自民クラブ）議員

質疑質問の映像リンク

「こども110番の家」の取り組み強化について

答問　「こども110番の家」の設置件数について

5月31日現在、市内に788箇所登録されている。

答問　登録件数の減少や担い手不足などの課題と対策について

少子高齢化、商店数の減少、定年延長などにより祖父母などの働く期間が長くなったことや家族が家にいないことが要因。個人宅だけでなく、地域の目が届きやすい会社などの事業所にご協力をいただくことも有効な手法の一つである。



荻生地区「こども110番の家」のぼり旗

若い世代の健康を守るHPV感染症予防について

答問　接種費助成の検討や国に対して定期接種化や制度拡充を求めていく考えについて

男性へのHPVワクチン接種は、予防接種法に基づく定期接種ではなく、任意接種として位置づけられている。現在、国の厚生科学審議会において、議論が進められており、接種費の助成や定期接種化、制度の拡充については、国の動向や県内自治体の取組を注視していきたい。

子育て世帯への経済的支援の充実について

答問　1歳児以上の保育料無償化や多子世帯への更なる負担軽減について

通園されていない乳幼児の保護者の方々との間に不公平感が生じる。無償化による利用増に対し、保育士の確保が追いつかないことも懸念される。無償化の拡大により、保護者の就労のしやすさが向上するなど子育て世帯の負担軽減や所得向上に繋がる面もあると考えられる。県内自治体の状況を含め検討をしていきたい。



個人質問

中野得雄　議員（自民同志会）

質疑質問の映像リンク

市内小中学校関連について

問　自転車の「道路交通法改正」に伴い、自身の身を守る運転と他人に迷惑を掛けない運転教育を子供たちに再度正しく教える教育について

答　児童生徒にとって身近な交通手段であるが、加害者・被害者の双方となる可能性があるため、警察・交通安全協会と連携し「道交法改正」についての安全教育を進めていく。

宇奈月温泉スキー場について

問　宇奈月温泉スキー場経過期間5年間の経費・収支・来場者1人単価について

答　維持管理はリフト等の工事費・修繕費を別として5年間での維持管理費は1億2731万9千円、収支については5年間で△1億1245万4千円となる。一人当たりの経費は5年で平均4154円の支出となっている。

問　宇奈月温泉スキー場のグリーンシーズン利活用について

答　温泉マークの芝桜定植やカウベルトの設置、4月からは「平和観音像」までのレンタルサイクリング等、年間を通じた観光事業を進めてきた。しかし、トイレ・手洗い場等の施設整備に係る財源負担については検討すべきと考える。

問　数年間にわたり議論の先送りを行ってきたが、最終的に市長として運営継続もしくは廃止についての考えについて

答　スキー場運営については、大原台地域の通年利用化を関係団体とも協議しながら、今後先送りすることなく今年度中に一定の結論を出したい。



宇奈月温泉スキー場
グリーンシーズン

行政視察レポート

総務文教委員会

■日　　程　令和8年6月24日㈬～26日㈮
■参 加 者　高野早苗（委員長）、野村康幸（副委員長）
木島信秋、成川正幸、柳田　守、長谷川恵二
■視察先及び視察事項
東京都福生市（防災食育センター）
福島県大熊町（学びの舎　ゆめの森）
福島県双葉町（産業交流センター及び復興祈念公園）

生活環境委員会

■日　　程　令和8年6月30日㈫～7月2日㈭
■参 加 者　古川和幸（委員長）、橋詰真知子（副委員長）
辻　泰久、中野得雄、松倉孝暁
■視察先及び視察事項
京都府京都市（自殺対策について）
滋賀県草津市（公設・民設児童育成クラブについて）

産業建設委員会

■日　　程　令和8年7月21日㈫～23日㈭
■参 加 者　家敷誠貴（委員長）、柴沢太郎（副委員長）
中村裕一、大辻菊美、宮崎孝義
■視察先及び視察事項
奈良県宇陀市（群マネ（地域インフラ群再生戦略マネジメント）の取組について）
奈良県（群マネ（地域インフラ群再生戦略マネジメント）の取組について）
奈良公園（DXを活用した周遊促進とオーバーツーリズム対策について）

観光都市活性化振興特別委員会

■日　　程　令和8年7月27日㈪～28日㈫
■参 加 者　大辻菊美（委員長）、松倉孝暁（副委員長）
木島信秋、中村裕一、高野早苗、中野得雄、野村康幸
■視察先及び視察事項
宮城県大崎市（スキー場のグリーンシーズンの利活用について）
（あ・ら・伊達な道の駅）

デジタル化推進特別委員会

■日　　程　令和8年5月13日㈬～14日㈭
■参 加 者　柴沢太郎（委員長）、古川和幸（副委員長）
辻泰久、成川正幸、柳田守、家敷誠貴、長谷川恵二、宮崎孝義、橋詰真知子
■視察先及び視察事項
東京都町田市（「市民向けデジタルサービス「まちドア」について」）

黒部市議会シンポジウムを開催します

「未来を創る市民の力」をテーマに下記のとおり開催します。

日時：8月3日㈪ 19:00～20:30（18:30開場）
場所：黒部市国際文化センターコラーレマルチホール

専用申込フォームはこちら

9月定例会の日程（予定）

月　日	時　間	内　　容
9月1日(火)	午前10時	本会議　市長提案理由説明
		議案の細部説明
9日(水)	午前9時	本会議　提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表・個人）
10日(木)	午前9時	本会議　提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（個人）、委員会付託
	上記終了後	決算特別委員会
11日(金)	午前10時	産業建設委員会
	午後1時30分	総務文教委員会
14日(月)	午前10時	生活環境委員会
	午後1時30分	観光・都市活性化振興特別委員会
	午後3時	デジタル化推進特別委員会
15日(火)	午前9時	決算特別委員会
16日(水)	午前9時	決算特別委員会
17日(木)	午前9時	決算特別委員会
18日(金)	午前9時	決算特別委員会
	上記終了後	議会改革特別委員会
25日(金)	午前10時	本会議　委員長報告、質疑、討論、表決

本会議をみらーれTV中継（ライブ）及びインターネット中継（録画）でご覧いただけます

議会を傍聴しませんか

議会活動や市政の状況を知るために、議会を傍聴してみませんか？
傍聴の際には、市役所4階の受付で、住所・氏名をご記入ください。

◆お問い合わせ先　議会事務局　TEL54－2301

議会日誌　5月～7月

5月

13日(水)～14日(木)
　デジタル化推進特別委員会行政視察
20日(水)
　全員協議会
　政治倫理審査会
28日(木)
　議会運営委員会

6月

4日(水)～23日(火)
　6月定例会
22日(月)
　政治倫理審査会
23日(火)
　全員協議会
　広報広聴委員会
24日(水)～26日(金)
　総務文教委員会行政視察
30日(火)～7月2日(木)
　生活環境委員会行政視察

7月

21日(火)
　7月臨時会
　全員協議会
　議会運営委員会
　広報広聴委員会
21日(火)～23日(木)
　産業建設委員会行政視察
27日(月)～28日(火)
　観光・都市活性化振興特別委員会行政視察

編集後記

ついに、10月2日より「黒部宇奈月キャニオンルート」が一般開放されます。震災という未曾有の苦難を乗り越え、この日を迎えられることは、私たち黒部市民にとっても、心から誇るべき瞬間です。

このルートは単なる観光資源ではなく、黒部川の厳しい自然と向き合い、技術と執念で道を切り拓いていた先人たちの「誇り」そのものです。

この「黒部宇奈月キャニオンルート」が単なる通過点としてでなく、ここを起点として、黒部市の誇りを再確認し、地域経済の循環を加速させられるか、その仕組みづくりこそ大切であると考えております。

当局とともに様々な方と議論を交わし、未来の黒部を切り拓く希望の道となるよう、努めてまいります。

広報広聴委員会

委員長　中野　得雄
副委員長　高野　早苗
委員　中村　裕一　成川　正幸　柴沢　太郎　柳田　守　大辻　美和　古川　菊幸　敷家　誠貴

正副議長及び各委員会の委員長で構成

黒部市議会事務局　〒938－8555　富山県黒部市三日市1301　TEL 0765－54－2301　FAX 0765－54－9239
E－mail　gikaijimukyoku@city.kurobe.lg.jp